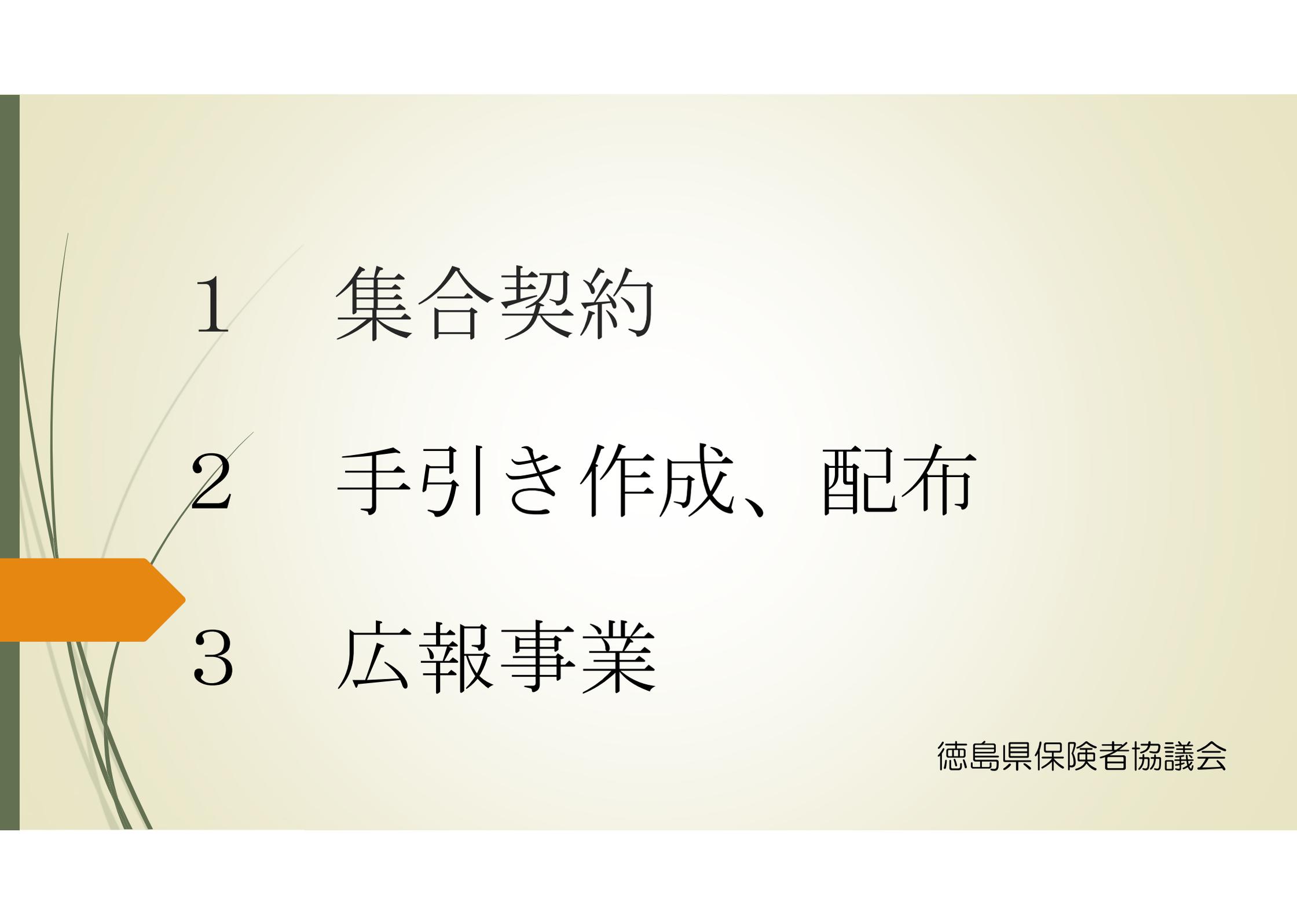




徳島県保険者協議会

特定健診・特定保健指導実施率向上のために



1 集合契約

2 手引き作成、配布

3 広報事業

1 集合契約

- 国保保険者側の取りまとめ = 徳島県国保連
健診機関側の取りまとめ = 徳島県医師会
とし、委託契約を締結
- 契約内容は、被用者保険側の取りまとめ者である
全国健康保険協会徳島支部
徳島県後期高齢者医療広域連合
へ情報提供

2 手引き作成、配布

- 徳島県医師会、徳島県国保連と連携し、「特定健診・特定保健指導、後期高齢者健診手引き」「委託元保険者一覧表」を作成。
契約医療機関等に配布。

2 手引き作成、配布

「標準的な健診・保健指導プログラム」

「特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
を作成。

契約医療機関、保険者協議会構成団体に配布。

3 広報事業

- (1) 限りある資源（予算）を有効的に活用すること。
- (2) 被保険者に対し効率かつ効果的なものとする。
- (3) 保険者協議会構成団体外の県民に広く周知できること。
を考慮し、次頁の広報媒体を保険者協議会構成団体に提供した。

注：後発医薬品使用促進に向けた広報と併せて提供。

3 広報事業

- (1) 保険者協議会構成団体発行の機関誌用と証発行時封入用広報データの提供
- (2) 家庭に設置の音声告知放送サービス（有線）、電信柱上に設置のスピーカーを用いた音声告知アナウンス原稿の提供
- (3) ケーブルTV用静止画の提供

注：(2)、(3)は、市町村限定

3 広報事業

(1) 機関誌用と証発行時封入用広報データ

徳島県保険者協議会からのお知らせ

40歳~74歳の方へ

特定健診 受けていますか?

徳島県保険者協議会は、みなさんでわけておこなうしんごう徳島県の公的医療保険者が集まってきた団体です。

特定健診 2人に1人の方が受けています

徳島県でも多くの方が受けています

共済組合	健康共済組合	国民組合	協会けんぽ	市町村国保
83%	82%	69%	46%	35%
の特定健診を受けています	の特定健診を受けています	の特定健診を受けています	の特定健診を受けています	の特定健診を受けています

特定健診を受けることで生活習慣病的発症や重症化予防につなげることができます

あなたの体を守るため特定健診を受けましょう

徳島県保険者協議会

3 広報事業

(2) 音声告知放送サービス（有線）

電信柱上の音声告知アナウンス原稿

徳島県保険者協議会からのお知らせです。

特定健診の受診券が届いたら、健診を受けましょう。

健診を受けると、あなたが糖尿病や心臓病、脳卒中などの病気になることを予防することができます。

今は健康でも、病院にかかっている、受診券が届いたら、必ず健診を受けてください。

徳島県保険者協議会

徳島県
保険者
協議会
からの
お知らせ

40歳から74歳の方へ
受けていますか？

特定健診



徳島県
保険者
協議会
からの
お知らせ

特定健診はおおよそ

2 人に 1 人

の方が受けています



徳島県
保険者
協議会
からの
お知らせ

特定健診を受けることで

生活習慣病 予防につながります

あなたの体を守るために

特定健診

を受けましょう



4 結果

(1) 集合契約

- 健診実施機関は、被保険者の所属団体に関係なく一律の金額であるため、窓口及び請求段階での混乱が生じにくい。
- ▲ 統一単価、統一検査項目であるため、保険者個別の理由による金額の設定や被保険者窓口負担等、きめ細やかな対応はできない。

4 結果

(2) 手引き作成、配布

- 健診実施機関側視点、保険者側視点の双方から見ていただく冊子としているため、疑問点等発生した場合も冊子を見れば解消される。
- ▲ 冊子作成には、労力と費用が必要である。冊子を見ていただければ解消される疑問点も、問合せが寄せられる。

4 結果

(3) 広報事業

① 機関誌用と証発行時封入用広報データ

- 機関誌に掲載していただくことができれば、ほぼ全県民への周知ができる。
- 国保保険者は年間を通して転入者があるため、証発行時に封入することは成果が見込める。

4 結果

(3) 広報事業

① 機関誌用と証発行時封入用広報データ

▲ 機関誌を発刊していない団体もある。

▲ 被用者保険の被保険者は、異動が4月に集中しており、年度当初の提案では時機を逸していた。

4 結果

(3) 広報事業

- ② 家庭に設置の音声告知放送サービス（有線）、
電信柱上に設置のスピーカーを用いた音声告知
 - 費用が掛からない。
 - 実現すれば、広く県民に周知ができる。
 - 通常とは違うアナウンスが流れるため、興味を惹くと想定される。

4 結果

(3) 広報事業

② 家庭に設置の音声告知放送サービス（有線）、
電信柱上に設置のスピーカーを用いた音声告知

▲ 住民からの問い合わせ対応が必要と思われる。

▲ 保険者協議会事務局提案は理解していただいた場合でも、本来の目的とは異なったことであり、目的外使用となる。【本来の目的＝災害対策】

徳島県保険者協議会

4 結果

(3) 広報事業

広報事業を提案したのは令和元年8月。

現時点において、どれだけの事業がどの団体で実施されたのかは把握できていない。

令和2年1月末ごろに調査し、次年度事業へ結び付けて参りたい。



徳島県保険者協議会

ご清聴ありがとうございました